**シャルル・ペギー (Charles Péguy)　　年表**

**1873年１月７日**

　オルレアンに生まれ６日後に洗礼を受ける。

　父は木工家具職人で、生後数ヶ月で死別。以降、椅子の藁の詰め替えを職業とする母と、文字の読めない祖母に育てられ３人の慎ましい生活をおくる。

1879-1885　オルレアン教員養成学校付属小学校

　　　Jules Ferry（７９年教育相、８０年首相による初等教育の無償化(1881)義務化非宗教化）

　　　1886年　初聖体　1888年頃まで宗教教育を受ける。

1886-1891 オルレアンのリセ　　バカロレア

　　1889年　パスカルの『パンセ』ルナンの『科学の将来』を読む。

　　　　　　　**ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』**

1891-1892　パリ郊外のリセ・ラカナル、高等師範学校準備クラス

1892-1893　兵役　出発直前に、カルモーの炭坑労働者への連帯に伴って、カトリックと決別

1893-1894 パリ、リセ・サントバルブ、高等師範学校準備クラス　哲学学士

　　　　　　　社会主義　貧困層との連帯の実践、食料援助活動など

1994 　　高等師範学校入学

　　　　　ジャンヌ・ダルクの＜内的生活(la vie intérieure)の歴史＞の表現の始まり

　　　　　哲学思想と歴史を詩劇によって表現

1995 -1996　オルレアンでの「黙想」（retraite）

　　　　　　1996年７月２５日親友Marcel Boudouinの死

1996-1997 　高等師範学校２年目

　　　　　　ソルボンヌでBoutrouxによる「パスカルの生涯」ついての講義

  **ベルクソン　『物質と記憶』を読み、婚約者への婚約の贈り物とする**

1997 　　　ペギー　最初の詩劇『ジャンヌ・ダルク』３部作　６月に完成１２月に出版

　　　　　　行為のうちに＜神秘＞を生きるジャンヌと、頑な知的神学者の対立

1997年10月　故Marcel Boudouinの妹Charlotteと結婚、高等師範学校を去り、

　　　　　　　　　　社会主義書店出版社を構える。　哲学の教授資格(agrégation)準備

**1997-1998**  **＃ソルボンヌBoutrouxによる「パスカルの教義」ついての講義**

 **＃ベルクソンの講義**（Collège de France 代講で通年、２月から1900 年まで　　高等師範学校、1900年から1914年までCollège de France　ギリシャラテン哲学専任）

　　　　　　**＃ドレフュス事件**　　（97年末1998年 １月１３日ゾラの「我弾糾す」）

1998-99　Revue Blanche誌に論文投稿

1899年末 第一回フランス社会主義者会議、５人の社会主義指導者と決別し、自ら創立した書店、出版社を去る。

**1900年1月　半月手帳（Cahier de la quinzaine）を創設**

　　　パスカルの旗印のもとに「地方人からの手紙」「流感について」

　　　「三つの秩序」の引用と考察１

1902年２月　ベルクソン　「知的努力について」(L’Effort intellectuel)

1903年１月　ベルクソン「形而上学入門」(Introduction à la métaphysique)

 ペギーが半月手帳（２月１７日）に最後の三分の一をベルクソンの許可なしに掲載、ベルクソンから抗議を受ける。

　　　　　　ベルナール・ラザールの死

1905年６月　第一次モロッコ事件の危機感　＜啓示＞＜有機的な記憶＞と＜垂直のつながり＞　「三つの秩序」の引用と考察２

　1907 年　ベルクソン「創造的進化」 (Evolution créatrice)

　　　　　　「三つの秩序」の引用と考察３　＜心の秩序＞と＜知性の秩序＞

1908-1909　　恵みの体験　受難のキリストとの出会いと＜交わり＞の経験

1910年　「ジャンヌ・ダルクの愛の秘儀」(Mystère de la charité de Jeanne d’Arc).
　　　　「われらの青春」（「すべては＜神秘＞に始まり＜政治＞でおわる」）、
　　　　　　　　ベルクソンから感動の手紙

1911 再び病気と精神的危機　８歳の息子の病気とシャルトル巡礼の誓い

　　　　　聖母マリアの観想、希望の神秘

「新神学者フェルディナン・ローデ(Un nouveau théologien, M. Fernand Laudet)」

「希望の秘儀へのポーチ」　(Porche au mystère de la deuxième vertu)」

 ベルクソン　「知的直感（L’intuition philosophique）

1912年６月 シャルトル巡礼　完き委託

　　　　「無垢なる幼子殉教者の秘儀（Mystère des saint Innocents）

1913年　「聖母のタピスリー（Tapisserie de Notre Dame）」

　　　　　12月「イヴ（Eve）」

**1914年４月２６日「ベルクソンとベルクソン哲学についての覚え書き」**

**８月１日「デカルトとデカルト哲学についての覚え書き」絶筆**

**８月２日　出兵のため家を出る　ベルクソンに別れを告げる**

**９月５日　パリから東２２キロにあるヴィルロワにて額に銃弾を受け戦死**